

# 2024年度 自己評価結果シート集計表

A 十分達成されている B 達成されている C 取り組まれているが成果が十分でない D 取り組みが不十分である

項目	内容	評価			
		A	B	C	D
I 保育の計画性	・園の教育理念や教育目標を理解している	83%	17%	0%	0%
	・幼稚園教育要領を理解していると思う	83%	33%	17%	0%
	・園の教育課程を理解し、それに基づいて保育の計画を立てている	50%	50%	0%	0%
	・日、月案は、園の方針、教育要領、教育課程、幼児の実態などをもとに考えて作成している	67%	33%	0%	0%
	・安全面に留意し、季節に応じた環境構成を取り入れている	67%	17%	16%	0%
	・幼児の声を聞きながら、主体的活動を進めていく環境構成を考えている	50%	50%	0%	0%
	・幼児の心の動きをみながら、活動の展開に応じて環境を再構成している	67%	17%	16%	0%
	・日々の保育の評価・反省は、その日のうちにを行い、記録にとめ、次の保育にいかせるようにしている	33%	50%	17%	0%
	保育の計画性…総合評価	59%	33%	8%	0%
○保育の計画性でよく出来ていると思ったこと、課題として思ったこと					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児の興味関心を大切にして保育計画を立てることができた。</li> <li>・安全、安心して子ども達が幼稚園で生活し過ごせるよう、環境を整えた。</li> <li>・年間指導計画や月案を今の子ども達の現状に合わせた姿を職員間で確認しながら、遊びを計画できた。</li> <li>・予期しない出来事があった時に、臨機応変に対応して職員で取り組むことができた。</li> <li>・全体会議での職員間の情報共有を保育の中でさらに生かしていく必要がある。</li> <li>・季節の遊びについては、気温が高く熱中症アラートが出た日が多いことや、感染症流行への懸念からあまり取り組むことができなかった。</li> <li>・遊びの中でもっと発展しそうな環境を整えることができたらよかったです。</li> <li>・自分の保育の振り返りと反省をして、そこで出てきた課題に取り組んだ。</li> </ul>					
II 保育者の在り方、 幼児への対応			A	B	C
	・朝の視診は丁寧な声掛けで必ず一人一人行い、その日の健康状態を見極めて対応している	83%	17%	0%	0%
	・年齢によっては遊びの幅も違うことを理解した上で環境構成の中で危険はないか配慮している	67%	33%	0%	0%
	・毎月の安全チェックとともに各クラス単位でも安全についての話をするように心がけている	17%	67%	16%	0%
	・一人ひとりを大切にしてスキンシップをとりながら、思いやサインを受け止めるよう心がけている	67%	33%	0%	0%
	・幼児同士のかかわりの姿を捉え、そこで幼児の育ちを理解する	67%	33%	0%	0%
	・幼児の理解のために（言いにくいこともしっかり伝え）家庭との連携をとる	50%	50%	0%	0%
	・幼児の一人ひとりのありのままの姿を受け入れ、その子のよさを認めるように心がける	67%	33%	0%	0%
	・幼児が自ら考えたり工夫したり出来るように見守り、行き詰っているときには適切な援助をする	50%	50%	0%	0%
	・クラスの環境構成などについてもお互いにフランクに意見を交換し合う	50%	50%	0%	0%
	・常に幼児の発達段階に応じた対応を心がけ、教師の感情で対応をするようなことはない	67%	33%	0%	0%
	・幼児のことについて保育者同士で話し合い、共通理解をするように心がける	100%	0%	0%	0%
	保育者の在り方、幼児への対応…総合評価	62%	36%	2%	0%

- 保育者の在り方、幼児への対応でよく出来ていると思ったこと、課題として思ったこと
- ・子どもの話をよく聞き、気持ちを受け入れるよう心掛けた。
  - ・一人ひとりの発達の特性を理解して、その子らしさを大切にするように保育に取り組んだ。
  - ・子ども達一人ひとりをよく見て小さな変化に気付くように心がけ、成長を喜び合えることができた。
  - ・保育者自身が大切な環境であることを自覚して子ども達と関わるようにした。
  - ・子ども達一人ひとりの気持ちを大切に考え、個別やクラス全体で気持ちを伝えあう時間を持つことができた。
  - ・今以上に子どもに寄り添い、信頼関係を深く築けるように努力したい。
  - ・活動に予定より時間が掛かってしまい急がせてしまう事があったので、余裕を持って取り組むようにしたい。

		A	B	C	D
III 保育者としての資質と能力	・保護者に対し、幼児や自分の保育のことをわかりやすく話し、保護者との信頼関係を築くよう努める	50%	33%	17%	0%
	・職務上、知り得たプライバシーに関する情報などの秘密を守る	100%	0%	0%	0%
	・使ったものは元の位置へ必ず返し、次の人気が困らないよう整理整頓している	83%	17%	0%	0%
	・締め切りのある仕事や提出物は締切日をきちんと守る	83%	0%	0%	17%
	・教職員全員で一つのチームであることを自覚し、自分で得た情報など必ず報告・連絡・相談する	83%	17%	0%	0%
	・他者の意見を素直な気持ちで聞く、自分の意見を述べるよう努める	83%	0%	17%	0%
	保育者としての資質と能力…総合評価	78%	14%	5%	3%

- 保育者としての資質と能力でよく出来ていると思ったこと、課題として思ったこと
- ・自分自身の仕事に責任を持って取り組むことができた。
  - ・遊びに取り組む子ども達の自主性を尊重し、保育者も一緒に楽しむことができた。
  - ・職員会議を通じて子ども達の育ちなど、具体的な事例を挙げ話し合い共通理解ができた。
  - ・職員会議は、週に一回を基本としているが、必要な場合には回数を増やして行うことができた。
  - ・日々の職員間の何気ない会話の中にもクラスの課題を相談し、その結果を報告している。
  - ・保護者や保育者間で話をする時に、わかりやすく簡潔に伝えるように努めていきたい。

		A	B	C	D
IV 保護者への対応	・保護者に個々の幼児の様子を伝える工夫をする	83%	17%	0%	0%
	・保護者からの相談や要望には心を開いて、よく話を聞くよう心がけ、伝えるべきことは的確に伝える	50%	50%	0%	0%
	・保護者の個人情報の管理については園の方針に従い口外しない	100%	0%	0%	0%
	・電話は、相手が見えないために誤解が生じやすいことを心に留め、簡潔にわかりやすく話すことを心がける	50%	50%	0%	0%
	・保護者からクレームがあった場合は、教職員全体で検討し、共通の理解のうえで対処する	67%	17%	16%	0%
	保護者への対応…総合評価	70%	27%	3%	0%

- 保護者への対応でよく出来ていると思ったこと、課題として思ったこと
- ・子どもの送迎時や電話で、園児の最近の様子を伝え保護者との情報共有に努めた。
  - ・HPを毎日更新するように心がけ、成長の様子やその日に何があったか一日の流れ、エピソードを伝え配信した。またクラス通信やシール帳を通して幼稚園活動を理解してもらえるよう努めている。
  - ・保護者からの意見や要望に対しては、真摯に受け止めて検討し対応した。改善できるところは改善に努めた。
  - ・コミュニケーションをたくさん取って言葉の行き違いがないように、信頼関係を深めていきたい。
  - ・家庭での園児の様子を聞いて、更なる子ども理解に努めたい。

		A	B	C	D
V 地域の自然や社会 とのかかわり	・園外散歩等を通じて自然に親しみ地域の方々との挨拶や会話も積極的に行っている	17%	67%	16%	0%
	・小学校教育を理解しようと心がけ、卒園した子ども達との会話も積極的に行っている	87%	17%	0%	0%
	・子育て支援や地域開放について、教職員全体で話し合い取り組もうとしている	50%	33%	17%	0%
	地域の自然や社会…総合評価	29%	59%	12%	0%
	○地域の自然や社会とのかかわりでよく出来ていると思ったこと、課題として思ったこと				
	・幼保小の連携として小学校や保育所との交流を持つことができた。特に小学生との交流を通して、園児たちは小学校の具体的なイメージを持つ事ができて入学への意欲に繋がった。				
	・移動動物園や入船公園遠足、水族館遠足(年少組は親子遠足)に楽しんで取り組むことが出来た。子ども達が自然や生き物に触れる良い機会となっている。				
	・園外で公共の施設や公共の乗り物を利用する時には、事前に子ども達とお約束(ルール)をしてから行くことができた。				
	・自分たちの住んでいる地域の人々や行事に園児たちが親しみを持てるような活動を増やしていきたい。				
	・歩く力が十分についていない子どもたちが増えてきているように思うので、散歩に出来るだけ出かけて歩く力をつけるように努めたい。				
	・未就園児の為の地域開放「あひるの会」は、子育て世代の交流の場となっている。また園の子育て相談の場ともなっている。今後も継続して地域の子育てを支援していきたい。				
VI 研修と研究		A	B	C	D
	・研修会や研究会には自己課題をもって進んで参加する	67%	17%	16%	0%
	・幼児の発達理論を学び、保育にいかすための研修・研究を行う	83%	17%	0%	0%
	・教育課程や指導計画の理解と作成に関する研修・研究を行う	33%	67%	0%	0%
	・アレルギー、自立の遅れなど、最近多く見られる問題について理解する	33%	50%	17%	0%
	・遊具・教材の使い方や利用方法について研究している	50%	33%	17%	0%
	・園内の環境を活用するうえでの研究・計画に努めている	33%	50%	17%	0%
	研修と研究…総合評価	50%	33%	17%	0%
	○研修と研究でよく出来ていると思ったこと、課題として思ったこと				
	・自己の課題を持って研修に参加する事ができた。				
	・研修で学んだことを保育で実践できた。				
	・園内研修や研修会への参加や取り組みの中で、キリスト教、アレルギー、幼児の育ちへの理解、ハラスメント、絵本の意義など、様々な分野についての学びの時間を持つことができた。				
	・講師を招いた研修では、講師の先生の実体験を含めた研修となり有意義な時間を持つ事ができた。				
	・研修会時の分科会を通し、違う幼稚園の保育者との学びの時間を持つことができた。自分の保育の視野を広げる為必要な研修だと思った。				
	・研修会で学んだ内容を職員間で共有し、更に内容を深めるように努めていきたい。				
	・今後も専門性の高い研修に参加し研究に励んでいきたい。				
	・新しい情報や学び直しの時間を大切にしてそれぞれの保育に活かせるように努めていきたい。				

### [自己評価全体を振り返って]

自己評価を定期的に行うことによって、自分自身の保育を振り返る機会となり、個人の課題やクラスの課題そして園全体の課題にも目を向けることができる。またこの自己評価を行う事によってそれぞれの保育者の意識向上が促され、より質の高い保育を目指す指標を与えてくれるものともなっている。